

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	国語
発行者名（番号）・教科書名	東京書籍（2） 新編 新しい国語
1 取扱内容	教育の目的・目標等（教育基本法、学校教育法）及び教科の目標（学習指導要領）を達成する上において、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域及び「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について、バランスよく系統的・計画的に言語能力が育成されるよう配慮されており、適切かつ効果的である。
2 内容の選択及び扱い	近代文学、現代文学、古典作品のバランスがよい。人権・平和・環境・防災など、現代社会の様々なテーマに関わる内容が取り上げられている。また、「言葉とメディア」の系統がもうけられ、今日的課題であるメディアリテラシーを深く学ぶことができる。各領域で身につける言葉の力を明示し、思考力・判断力・表現力を育成する内容となっている。
3 内容の程度	明快な文章であり、題材も学習者の関心を引きやすいものが多い。中学生の発達段階・知的好奇心に応じた適切な程度である。ただし、文法事項に関しての練習問題の難易度は高い。
4 内容の構成及び配列	年間を通じて各領域をバランスよく学習できるよう配列されている。小学校と中学校の接続がスムーズに行うことができる。本編、基礎編、資料編の3部構成とし、効果的に学習を進められるものとなっている。さし絵や図表も効果的に挿入されており、内容理解が深まるよう配慮されている。
5 創意工夫	学習目標とともに、「学びの扉」「学びの流れ」が提示され、学習者が見通しや目的を持って取り組めるように工夫されている。また、ゲーム感覚で学べる「文法の窓」など、学習者の意欲を引き出す工夫も見られる。3部構成の基礎編、資料編も整理されており、様々な場面で活用できる可能性がある。
6 使用上の便宜	紙面が大きく、重要な部分が判別しやすいよう色使いに工夫がされている。文字の大きさや字間・行間も各学年の発達段階に合わせた適切なものとなっている。とりわけ、小学校時に既習でない漢字には、初出箇所を送り仮名がつけられ、生徒の抵抗感を和らげている。ただ、折り込みが連続し、ページをめくりにくいところもある。
7 その他	引用している教材・資料には、出所・出典を明示し、活用しやすいよう配慮されている。
総合的な評価	内容の選択、程度、構成ともに適切であり、生徒の抵抗感を和らげる工夫もあり、伊賀地域の実態を考えると、すべての生徒が使いやすく、適していると思われる。言語活動は、しっかりとした枠組み、丁寧に細かな説明がされている。総合的な評価は高い。

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	国語
発行者名（番号）・教科書名	学校図書（11） 中学校国語
1 取扱内容	教育の目的・目標等（教育基本法、学校教育法）及び教科の目標（学習指導要領）を達成する上において、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域及び「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について、教材も難易度の高いものもあるが多様であり、言語能力が育成されるよう配慮されており、適切である。
2 内容の選択及び扱い	様々な文学作品を取り上げ、感性を育むという点で、充実している。反面、説明的文章がやや少ないと感じる。読解力・思考力の育成に重点を置き、命や生きること、環境・平和などの現代社会の諸問題に関する幅広い作品が取り上げられている。
3 内容の程度	生徒の発達段階に適応しているが、扱われている教材の難易度の差が大きい。特に古典においては分量も多く、読解に時間を要すると思われる。
4 内容の構成及び配列	各領域の学習をバランスよく進めることができるように、各単元に「話す・聞く」「書く」「文法」「漢字」などのコラムが配置されている。特に「読むこと」については、三段階の構成になっており、段階的な学習が行えるよう配慮されている。ただ、文学的文章、韻文、古典の比重がやや高く思われる。さし絵、図表等は、生徒の関心・興味を隆起するよう、適宜挿入されている。
5 創意工夫	各単元の扉に目標と教材の配列が示され、単元末の「ついた力を確かめよう」で自己評価できるように工夫してある。また、「漢字を見抜く」では、特徴的なキャラクターが描かれ、興味を持って学ぶ意欲を促す内容としているなどの工夫が見られる。
6 使用上の便宜	紙面が大きく、領域ごとに色分けがなされている。ただ、赤色、緑色が多用されるなど、色使いが少しきつい印象や見づらさを感じる。印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字間・行間、書体等は適切なものになっている。
7 その他	引用している教材・資料には、出所・出典を明示し、活用しやすいよう配慮されている。
総合的な評価	しっかりとした力をつけることができるが、扱われている教材の難易度の差や印刷の状況もあり、教材によっては、意欲を持続しづらい生徒もいると思われる。言語活動は実生活との結びつきに弱さを感じられる。

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	国語
発行者名（番号）・教科書名	三省堂（15） 現代の国語
1 取扱内容	教育の目的・目標等（教育基本法、学校教育法）及び教科の目標（学習指導要領）を達成する上において、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域及び「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について、バランスよく系統的・計画的に言語能力が育成されるよう配慮されており、適切かつ効果的である。
2 内容の選択及び扱い	思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにできるよう、多くの題材やレポート・プレゼンテーション・インタビューなど、他教科の学習や実生活で生きてくる言語活動が豊富に扱われている。また、説明文では科学的思考や社会問題に触れるなど、現代社会の課題等について、認識が深められるものや学習者に身近なものを選択している。
3 内容の程度	基礎的・基本的な知識及び技能を重視しており、学習者の発達段階に幅広く対応でき、適切である。
4 内容の構成及び配列	各領域の学習をバランスよく進めることができるように、各單元には「読むこと」の教材のほか、「話す・聞く」「書く」「文法」「漢字」などが配置されている。カラーのさし絵や写真が随所に用いられており、図表もその形式や提示方法が効果的である。
5 創意工夫	教材に関連させて、「読み方を学ぼう」を示し、何をどのように読めば力がつくのかを考えたり、「学習の道しるべ」を設け、学習の手順を示したり等の工夫が見られる。対話や話し合いなど共同的な言語活動の場が豊富に設定され、発展的な学習として「考える広場」で様々な表現活動を組み込むなどの工夫が見られる。
6 使用上の便宜	紙面が大きく、見開きでの一覧性を重視した紙面となっている。色の濃淡や罫線などにも工夫が見られ、文字の大きさも適切で読みやすく、誰もが使いやすいものになっている。折り込みの写真にもインパクトがあり、内容もよい。また、古典の色分けも見やすい。
7 その他	引用している教材・資料には、出所・出典を明示し、活用しやすいよう配慮されている。
総合的な評価	内容の選択、程度、構成ともに適切であり、「学び方」を学ぶ工夫もあり、伊賀地域の実態を考えると、すべての生徒が使いやすく、最も適していると思われる。言語活動も、技術だけでなく、体験を通して心の動きも実感しながら取り組めるよう工夫されている。総合的な評価は高い。

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	国語
発行者名（番号）・ 教科書名	教育出版（17） 伝え合う言葉 中学国語
1 取扱内容	教育の目的・目標等（教育基本法、学校教育法）及び教科の目標（学習指導要領）を達成する上において、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域及び「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について、多様な教材で、具体的な活動を通して目標が達成されるよう、単元ごとに配慮されており、適切である。
2 内容の選択 及び扱い	資料も含め、古典教材、近代文学がバラエティーに富み、豊富に扱われている。「対話力」「文章表現力」に重点を置き、日常的な活動を通してコミュニケーション能力を高めることを意識した教材が多く扱われている。
3 内容の程度	基礎的・基本的な知識及び技能を重視するとともに、言語力の育成を図るために適しているが、学年ごとの難易度の差の大きさが感じられる。
4 内容の構成 及び配列	「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」の3つの領域と、「伝統文化と言語」を関連づけて学習できるなど、各領域をバランスよく学習できるよう配列されている。ただ、文法事項については、第1学年での配分が少ないように思われる。写真やイラストが効果的に用いられており、学習者が理解しやすい。
5 創意工夫	日常生活における重要な語句や表現がおさえられるよう、文章の下段にまとめたり、脚本仕立てのコラムを設定して、言葉の知識を日常生活の中で楽しく身につけられたりするような工夫がされている。漢字練習の頁がもうけられており、活用しやすい。
6 使用上の便宜	紙面が大きく、全体を通しての文字の大きさ、レイアウトが適切である。図表やグラフ、地図、さし絵などは、読解の一助となるように配置されているが、色使いがややきつい印象を受ける。
7 その他	引用している教材・資料には、出所・出典を明示し、活用しやすいよう配慮されている。
総合的な評価	しっかりとした力をつけることができるが、教材によっては、難易度によって、意欲を持続しづらい生徒もいると思われる。文法事項の学年の履修配分に、やや偏りを感じる。

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	国語
発行者名（番号）・教科書名	光村図書（38） 国語
1 取扱内容	教育の目的・目標等（教育基本法、学校教育法）及び教科の目標（学習指導要領）を達成する上において、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域及び「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について、バランスよく系統的・計画的に言語能力が育成されるよう配慮されており、適切かつ効果的である。
2 内容の選択及び扱い	多様に変化する社会の中で自分の生き方を見いだせるよう、学習者の思考の幅を広げる教材を選択している。ふりがなや歴史的仮名遣いの扱いを見ると、ややレベルの高さを感じるが、自然科学・社会科学・人文科学など、幅広い分野から学習者の興味を引くテーマの教材を選び、古典作品・近代文学・現代文学のバランスもよい。
3 内容の程度	基礎的・発展的な内容がバランスよく含まれ、生徒が意欲的に学習に取り組めるよう配慮されており、適切である。
4 内容の構成及び配列	本編と「学習を広げる」資料・付録・索引編で構成され、各領域が学期ごとにバランスよく学習できるように配列されている。また、巻末に「登場人物の心情」「要約と要旨」など、読みの基本となる学習用語を整理して、参照できるように配慮している。図表・写真などは、適切に配置され、生徒の興味・関心を隆起するものとなっている。
5 創意工夫	教材、練習教材、言葉に関する教材という学習の流れが示され、学習者が単元の見通しを持ちやすいよう工夫されている。教材の難易度との関係もあるのであろうが、和歌に現代語訳をつけ、生徒の抵抗感を和らげたり、古典の詳しい通釈や解説をつけたりなど、深い学びに導くための工夫が見られる。
6 使用上の便宜	紙面が大きく、カラー印刷は、明るい色調であり、表紙がしっとり手になじむ。文字の大きさ、字間・行間、書体等は適切である。色だけでなく、形や濃淡を意識した図表等の使用など、配慮されている。
7 その他	引用している教材・資料には、出所・出典を明示し、活用しやすいよう配慮されている。
総合的な評価	内容の選択、程度、構成ともに適切であり、生徒は段階的に力をつけることができると思われる。言語活動は、しっかりとした枠組み、丁寧で細かな説明がされている。総合的な評価は高い。